

情報I 情報デザイン

教科書pp.38-45

情報デザイン

- ・効果的なコミュニケーションや問題解決のために,
情報をわかりやすく, 扱いやすくする技術
- ・デザイン: design:
〈人が〉«…のために»〈衣服など〉をデザインする;
〈建物・機械など〉を設計する『for』
(ウィズダム英和辞典 第4版)

情報デザイン

・情報バリアフリー

・障がい者や高齢者などが

情報を送受信するときに障壁となるもの取り除くこと

・すでにある障壁を取り除く

(なにかあったときだけ使う機能)

・barrier: 障害, 障壁, (ウィズダム英和辞典 第4版)

・free: <人・物>への制約を取り除く

(ウィズダム英和辞典 第4版)

情報デザイン

- ・障害の社会モデル

- ・障がい者と呼ばれる人が生活していて問題(困りごと)を感じるのは、本人に問題があるのではなく、社会に障害となる問題があるという考え方

情報デザイン

- **Webアクセシビリティ**

- あるWebサイトで提供される

- 情報やサービスを利用できること, またその到達度
(状態)**

- **代替テキスト**(altテキスト)

- 視覚障がい者でも, 画像の内容を説明した文が
設定されていれば, 読み上げソフトを用いて
理解できる

情報デザイン

・字幕

- ・聴覚障がい者でも、
音声の内容を文字起こしされていれば、
文字を読むことで理解できる
- ・クローズドキャプション
・効果音や音楽なども字幕にしたもの

情報デザイン

- ・ユニバーサルデザイン
 - ・できるかぎり多くの人にとって使いやすいよう設計すること
 - ・はじめから障壁を作らない

情報デザイン

- ・はじめから障壁を作らない
- ・**色覚バリアフリー**
 - ・色覚には多様性があり、人によっては区別しづらい色がある(障壁)
 - ・区別しづらい色を使わないようにすることが色覚バリアフリー
 - ・「赤色だから重要」のように、色だけの区別ではわからない人もいる
(スライドでは太字化, プリントでは空白化)

情報デザイン

- ・ピクトグラム
 - ・言葉を使わずに絵や記号で伝えるための図
 - ・変化や傾向がわかりやすい



情報デザイン

- ・フォントや大きさ・太さを工夫する
- ・判読性が高く、似た数字と区別しやすい
ユニバーサルデザインフォントなどがある
- ・フォントごとの印象
 - ・明朝体: 読みやすい
 - ・ゴシック体: 目立ちやすく現代的な印象
 - ・**ポップ体: 安っぽいイメージ**
 - ・筆書体: 伝統的なイメージ

情報デザイン

・ユーザビリティ

- ・ソフトウェアやWebサイトなどの使いやすさのこと
- ・usability: 使用可能なこと; 有用性; 〔IT〕
(ソフトウェアなどの)使い勝手, 使いやすさ
(ウィズダム英和辞典 第4版)
 - ・ニールセンのユーザビリティ10原則
(ユーザビリティを高めるための原則)
 - ・LATCH法
(位置, アルファベット順, 時間, カテゴリ, 階層
による分類)

情報デザイン

・ユーザインターフェース

- ・利用者が見たり触れたり(操作)する部分
- ・情報の表示形式やデータ入力方式の操作感
表示形式による違い
 - ・図
 - ・構造や関係性が直感的にわかる
 - ・表
 - ・正確な数値を一覧できる
 - ・グラフ
 - ・変化や傾向がわかりやすい